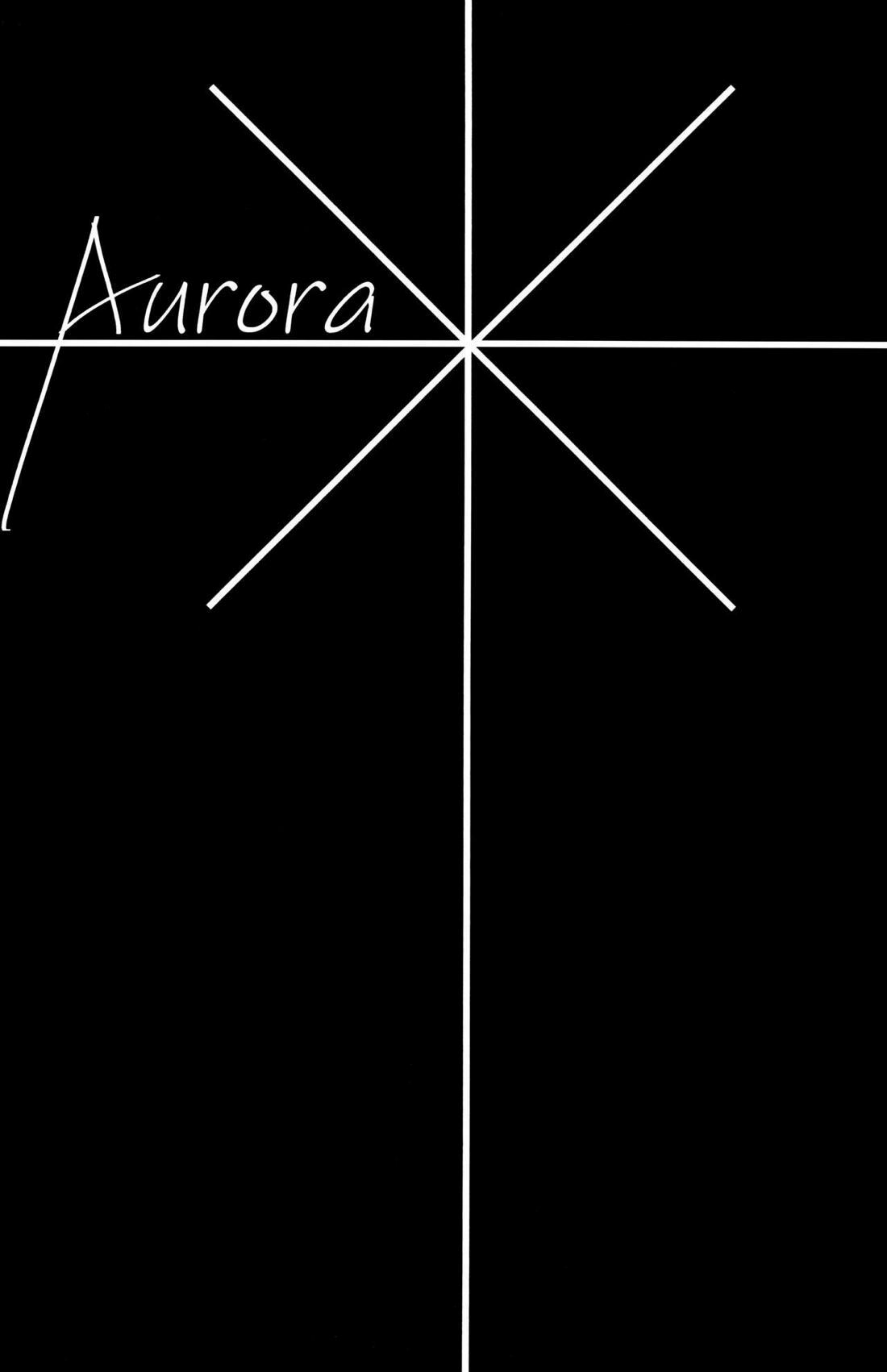
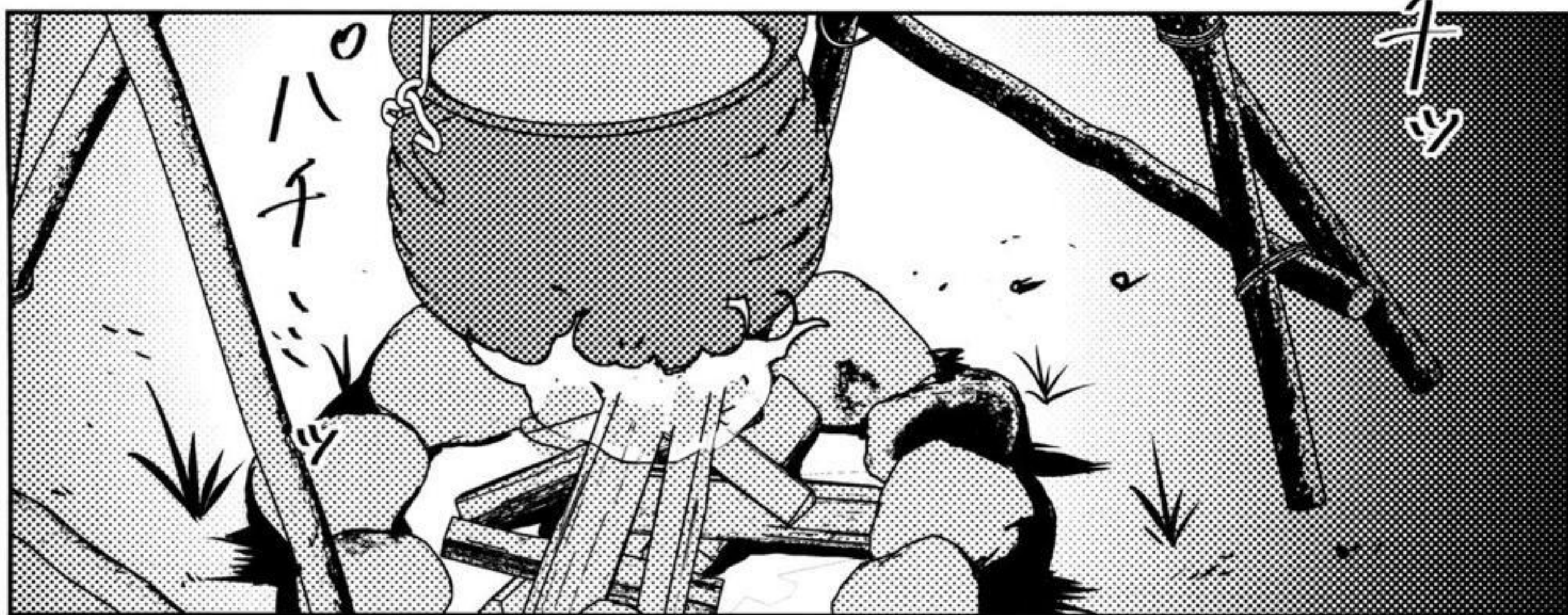




R-18
ADULT ONLY



Aurora







帰る場所が
あるってのは
良いもんだぞ





敵襲——！
敵襲——！

本營付近に
ギア出現！

オ
オ
オ

オ
オ





フ
ウ
ウ
ウ
ウ

パ
チ
...

パ
チ
...



畜生……！

何でだ

ギアが
こんな所に……！

もう嫌だ……！



何でこんな時に
軍神様は
いねえんだよ……！



何で……！



ソルは戻ってこない

それは団員の間で
広がっていた
確信であり諦念だった



クリフ様は
ソルが出て行ってから

その事に言及する
ことは一切なかった



まるで
ソルの出奔が

予め定められたもので
あったかのように



それでも
私たちは
守らなければ
いけないのだ



ソルは居ない



私たちが倒れれば
その後ろにある
「帰るべき場所」を
失ってしまう



そのためには
強く
もっと強く

圧倒的な力で
敵をねじ伏せられる
力をつけない
いけない

ソルのように



居なくなつてなお
鮮明に臉に焼き付く
その姿は

まさしく太陽に
他ならなかった

それから
何度衝突を
繰り返したろう



ソルを許せなかったのは
裏切られたと感じたせい
ばかりではない



ソルの力を
どこかで求めてしまう



自分の不甲斐なさが
許せなかったからだ



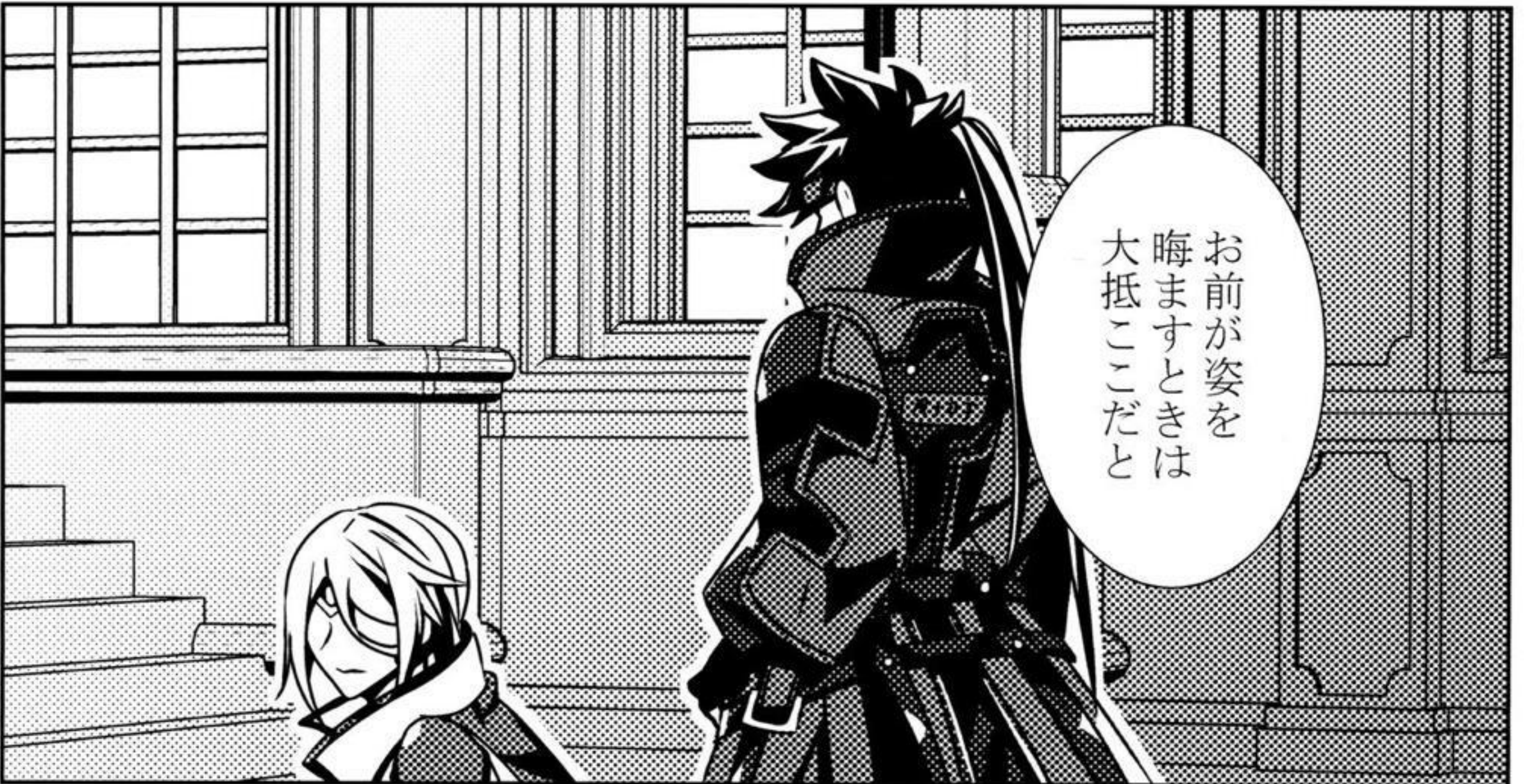
憧憬の
裏返しであつた
反発は

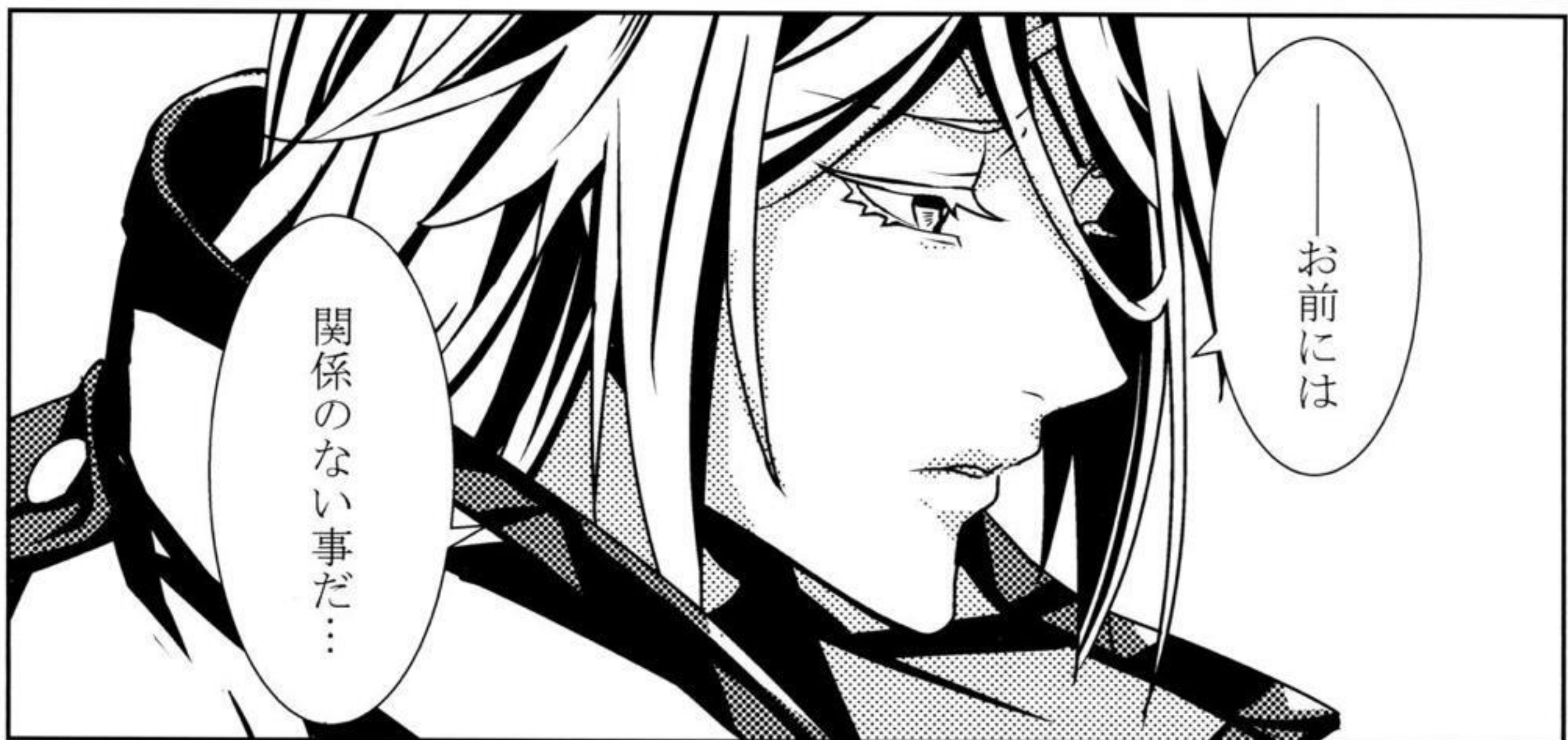
己が負う十字が
重くなることに
歪になり

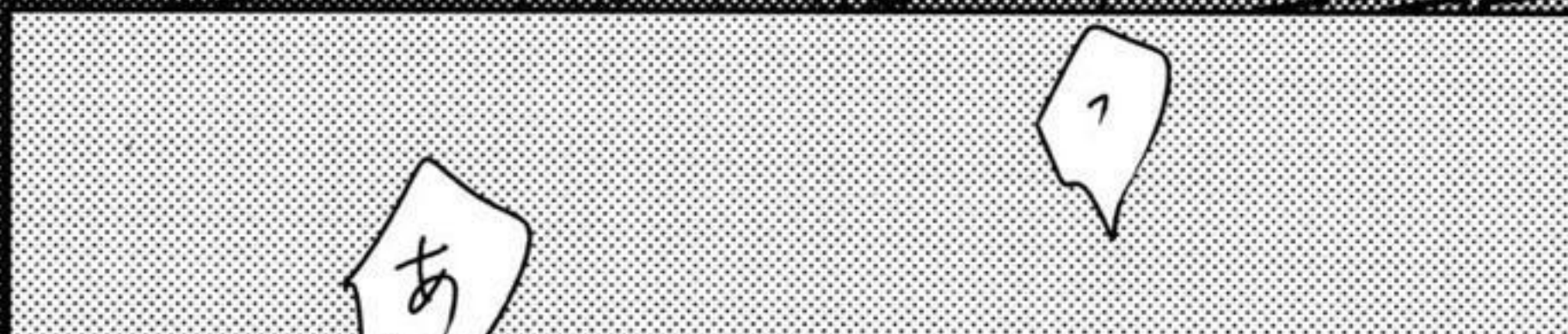
そして私とソルの間に
横たわっていた
名付しがたい感情が

決定的に変化した
あの日が訪れる――













……抵抗
しねえんだな



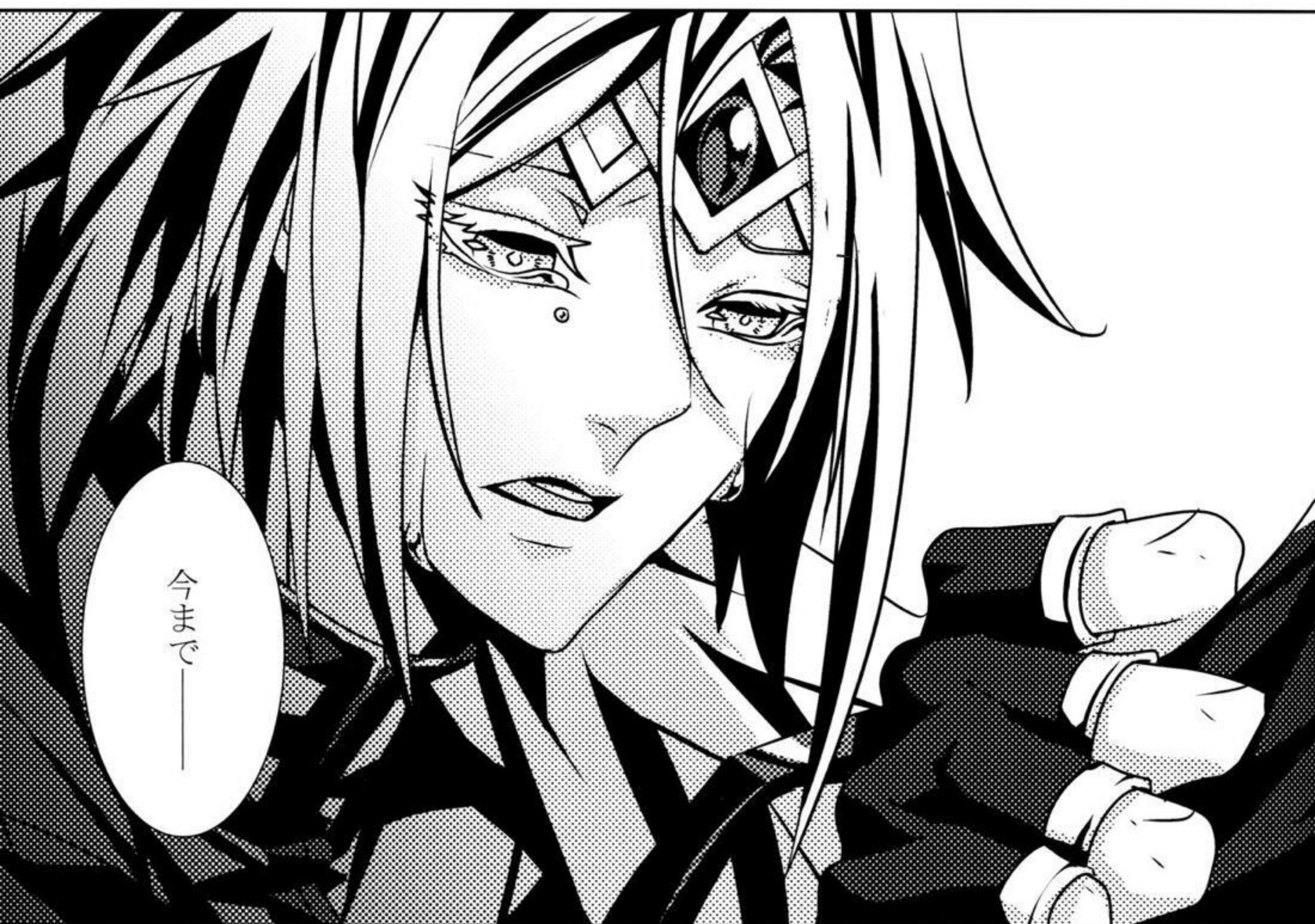
私が…

お前、を…!



拒めるわけが
ないだろう……！









けれど

今の私には
最愛の人すら
守れない――

私はお前のようには
なれない……



……そうやって



嘆いていて
何になる？

欲しいものが
あるんだろう



テメエの望む
未来とやら
のために

何だって
利用すれば
良いだろうが



そういう
生き方を

誰が駄目だと
言った



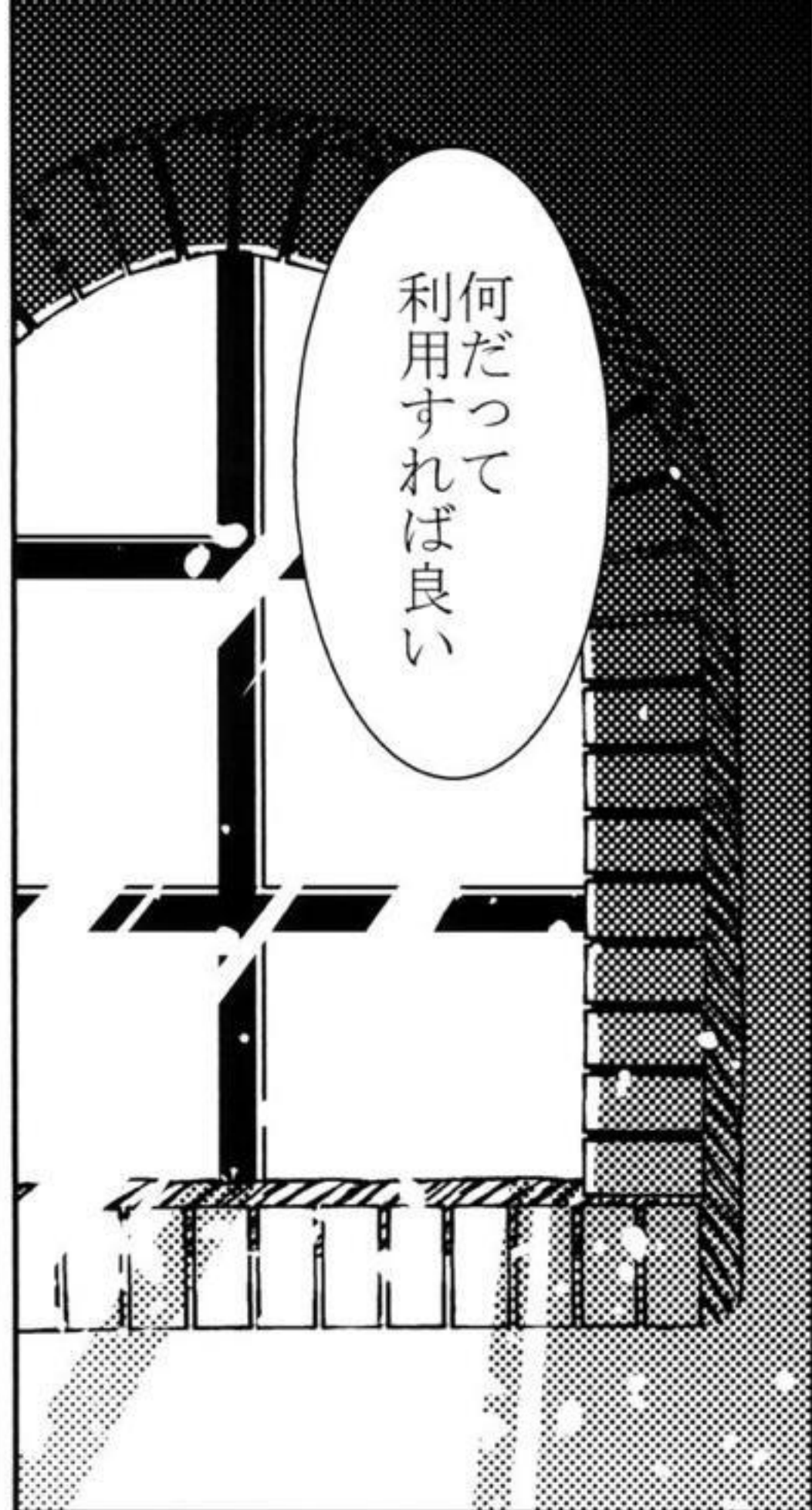
ギアを殲滅する
ためなら

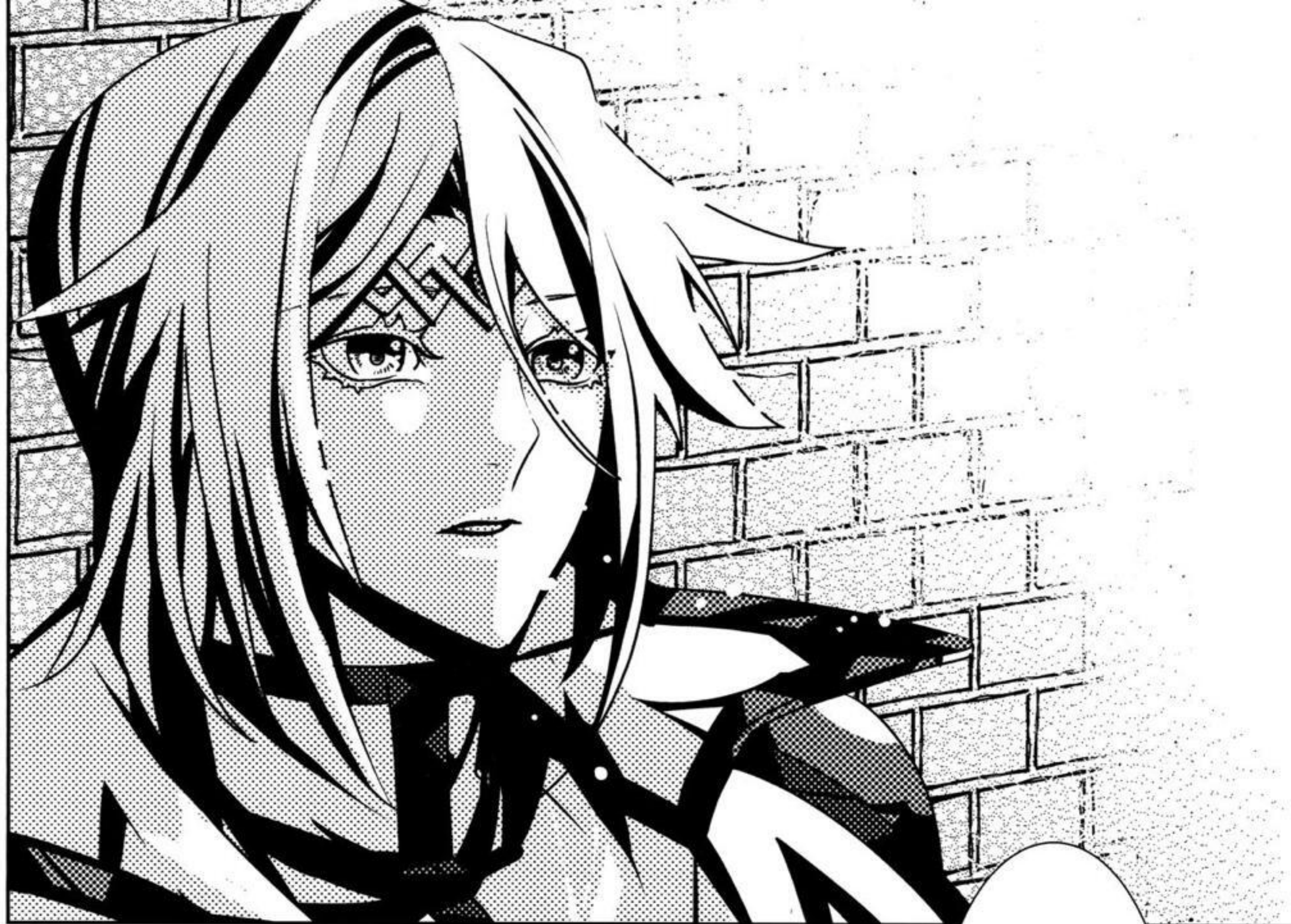
どんな手段も
使った坊やが

今更何に
手を伸ばすのを
躊躇う？



昔のてめえの方が
よっぽどシンプルに
生きてただろうが





ソル……っ



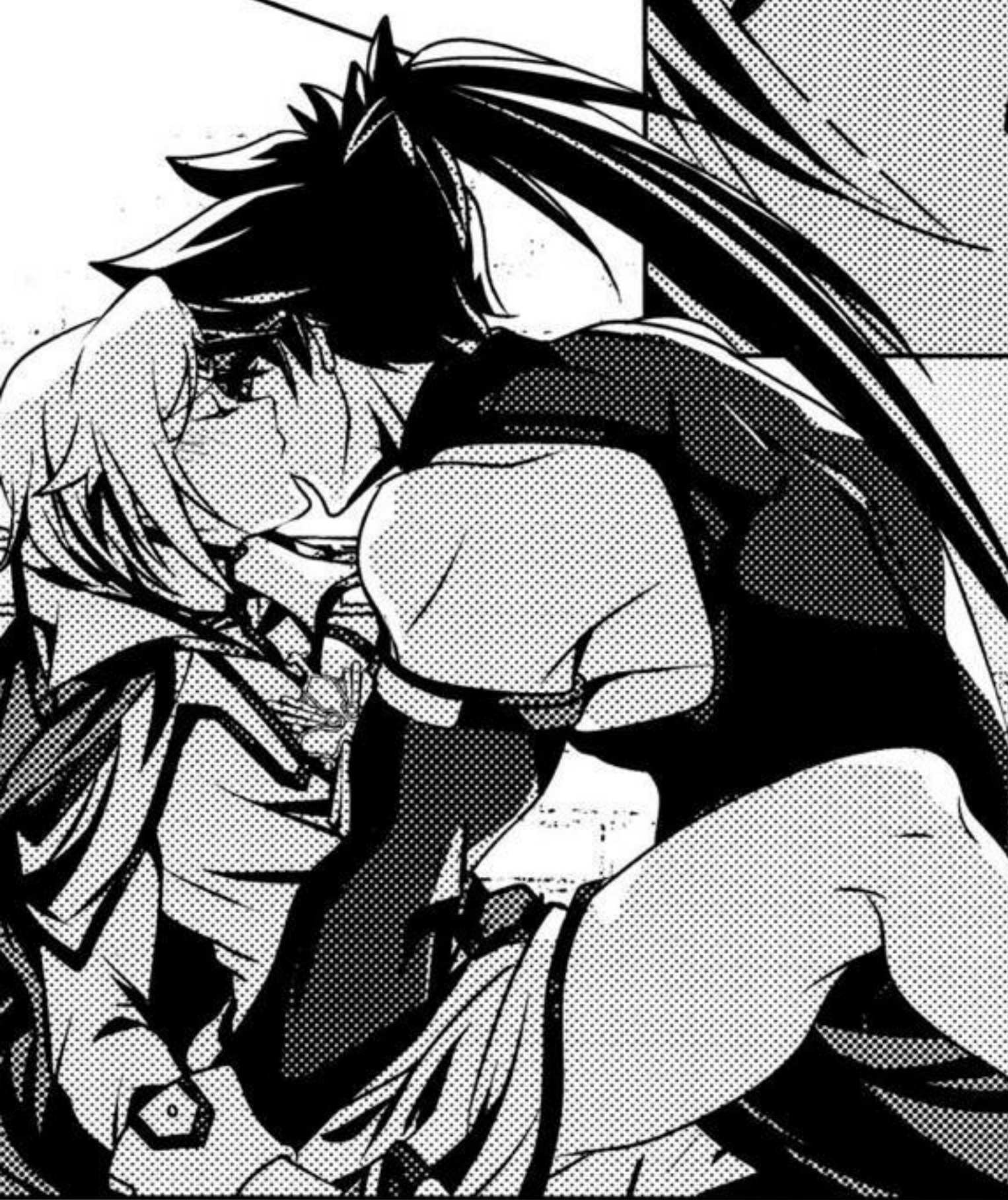
黙ってる



…悪くねえ顔だ



——不思議な
感覚だった



重なった唇から
染み込むように

ひび割れた心に
ソルが染みて
くるようだった

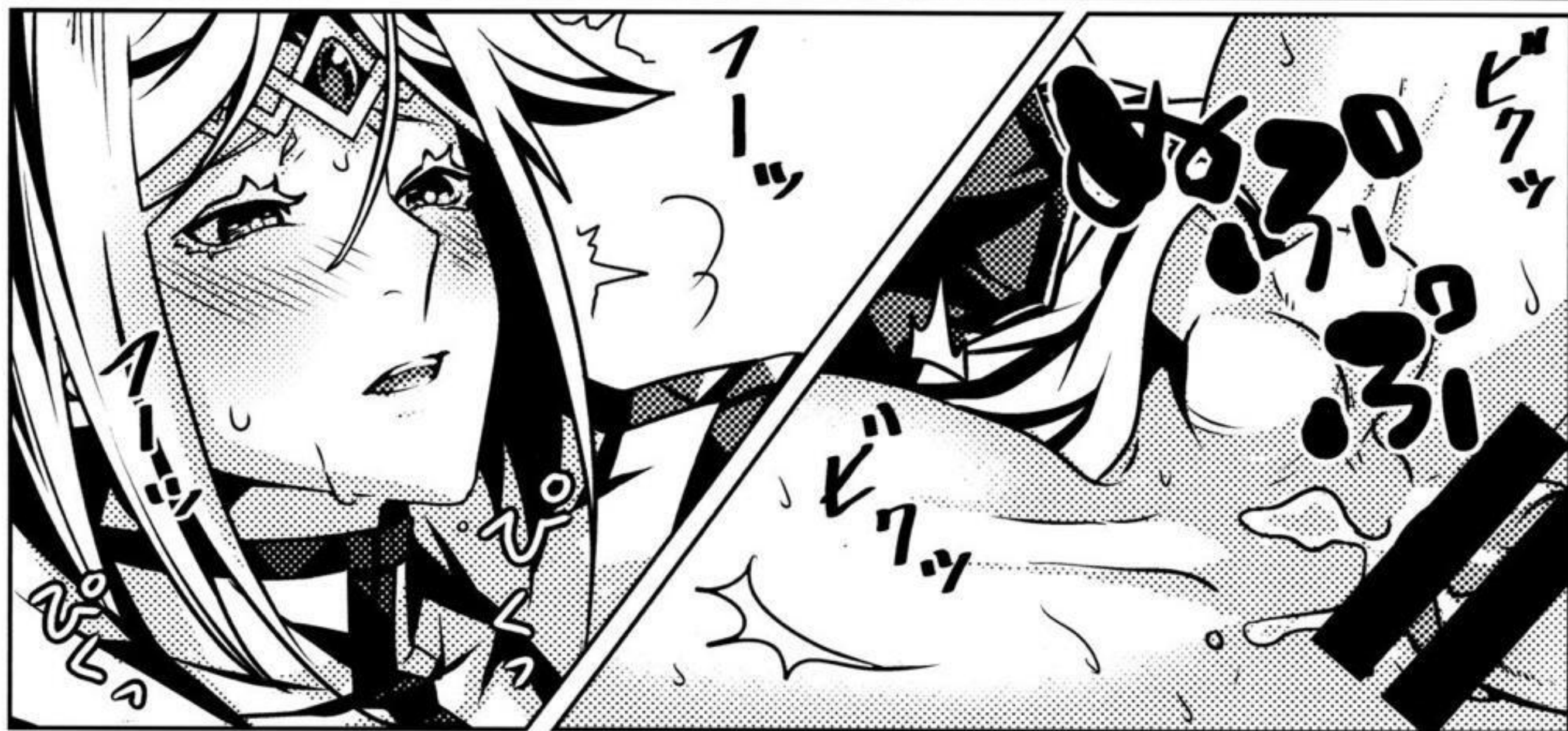


苛烈に輝く瞳に
射抜かれて



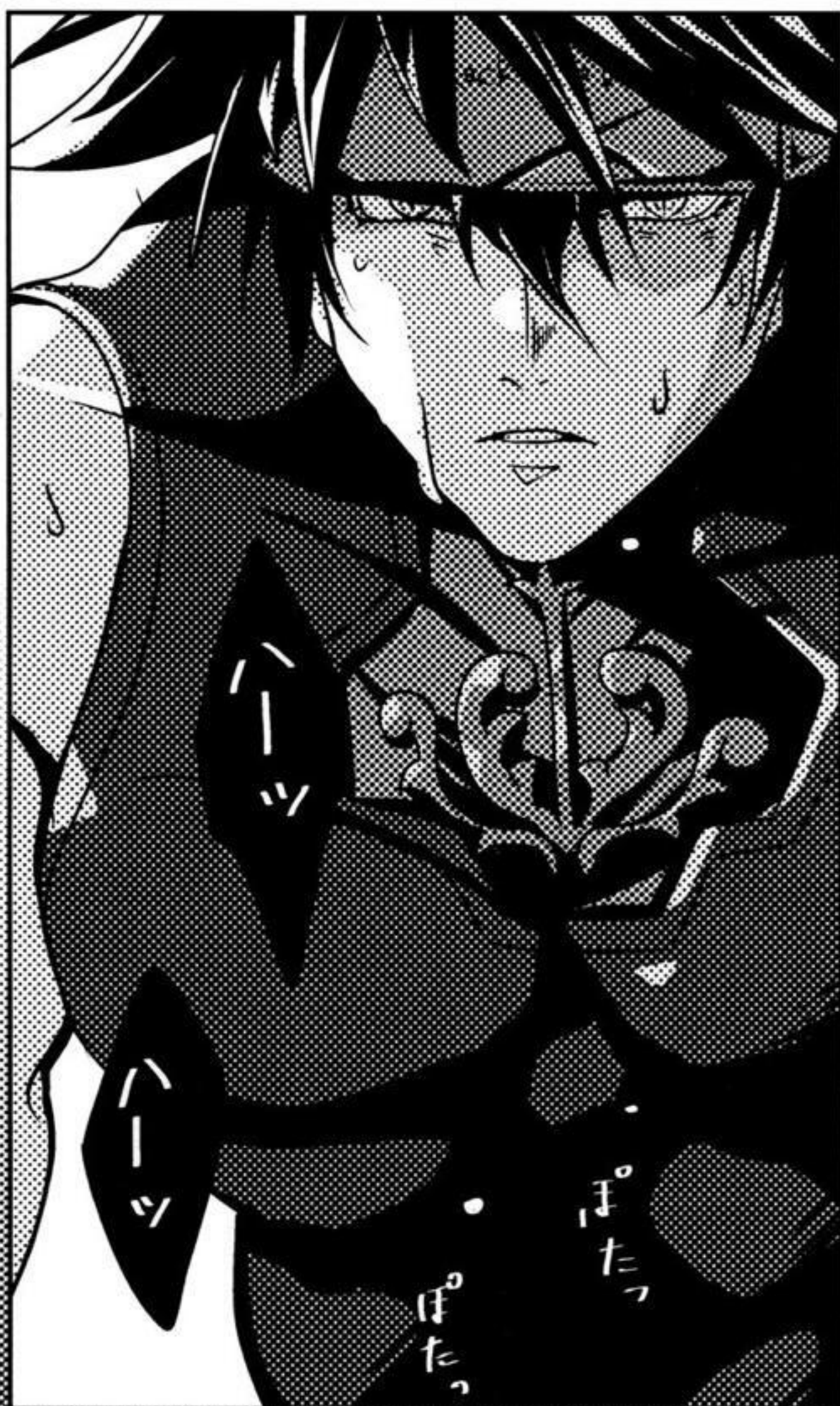
久方ぶりに体に
熱が通うのを感じる











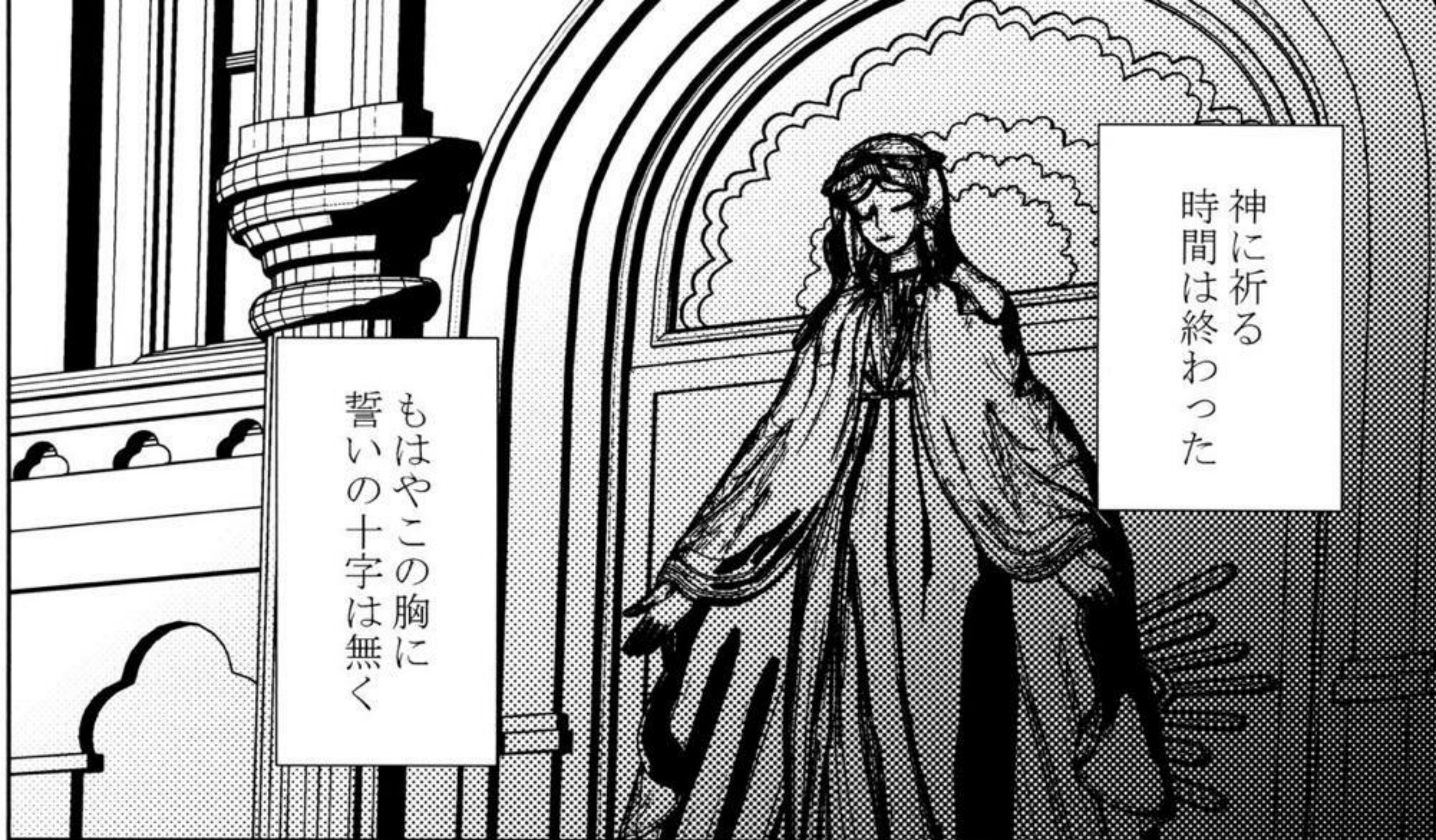
——
いつだって

ソルが
置いていくものは
傷痕ばかりだ



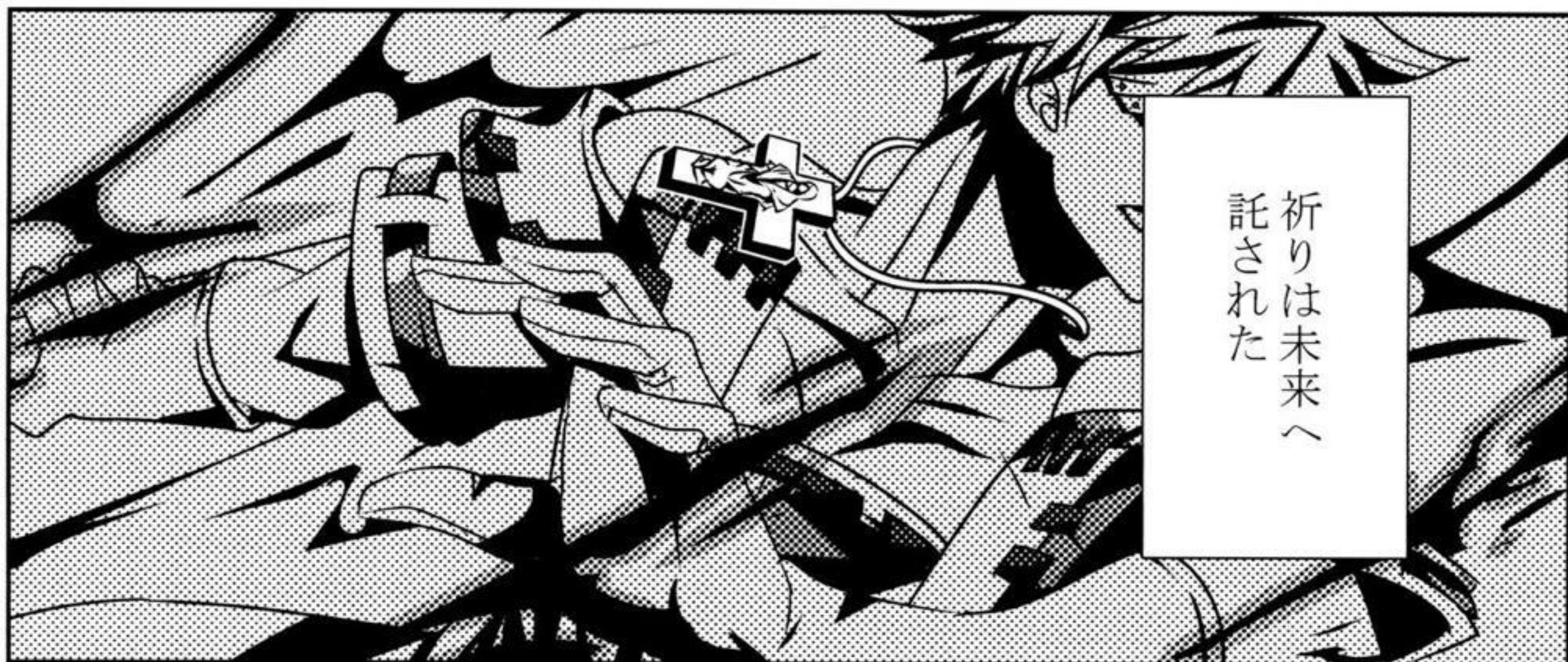


矛盾する世界に
抗う意思を



神に祈る
時間は終わった

もはやこの胸に
誓いの十字は無く



祈りは未来へ
託された



これより先は
望む未来を得る
ための戦い



——本当に
よろしいのですか？



この手配書を
出来るだけ広く
頒布して下さい



ええ

こうすれば
あの男は
こちらの意図に
気付くでしょう

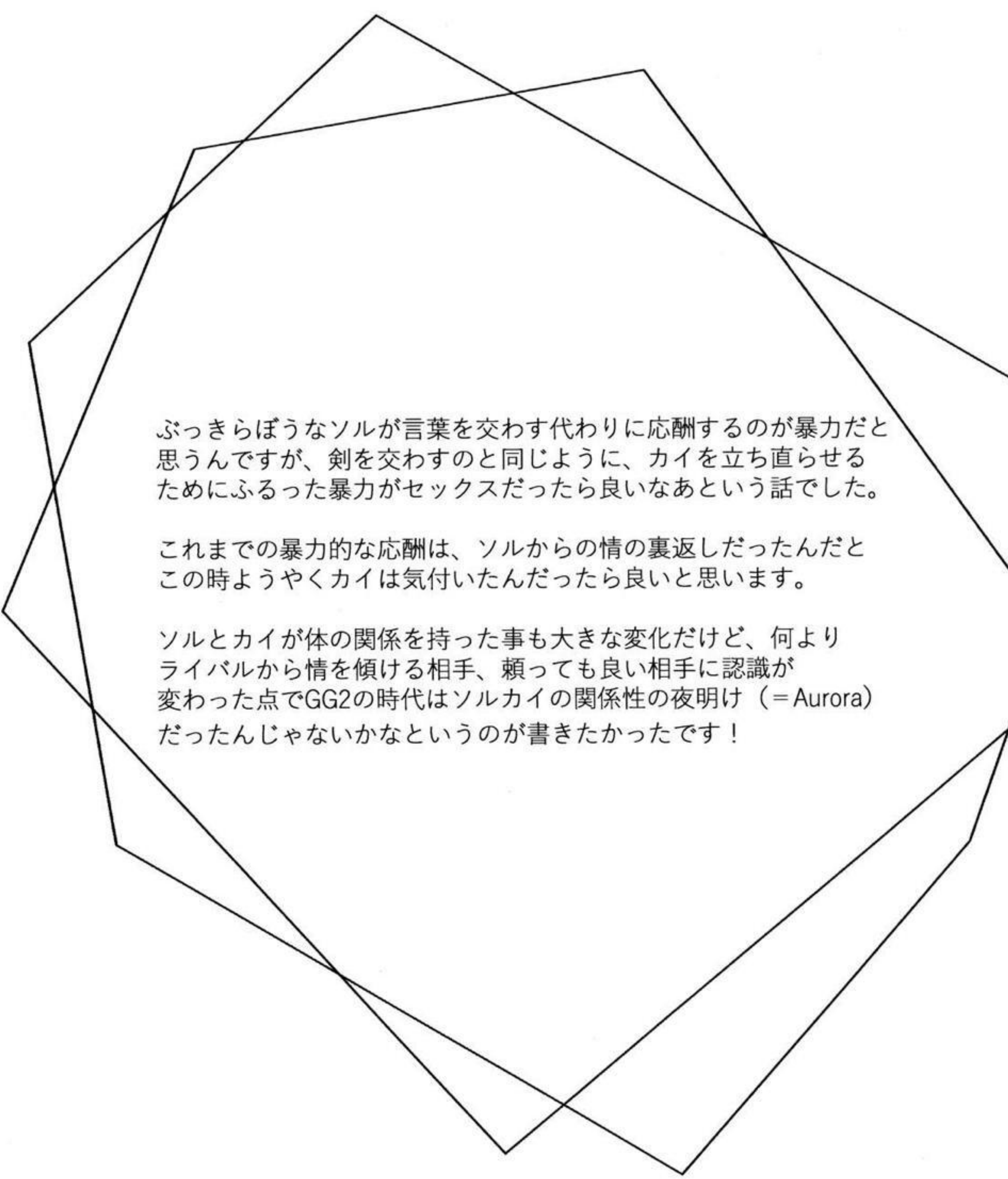


何でも利用しろ、と
言ったのは
お前だ

ソル

ならばお前も
利用させてもらう

私の望む
未来のために



ぶっきらぼうなソルが言葉を交わす代わりに応酬するのが暴力だと思うんですが、剣を交わすのと同じように、カイを立ち直らせるためにふるった暴力がセックスだったら良いなあという話でした。

これまでの暴力的な応酬は、ソルからの情の裏返しだったんだとこの時ようやくカイは気付いたんだったら良いと思います。

ソルとカイが体の関係を持った事も大きな変化だけど、何よりライバルから情を傾ける相手、頼っても良い相手に認識が変わった点でGG2の時代はソルカイの関係性の夜明け（= Aurora）だったんじゃないかなというのが書きたかったです！

GUILTY GEAR FAN BOOK

『Aurora』

Opal：ぺこ(frosch45@gmail.com)

2023/8/20 発行

印刷：プリントオン様

